まちを、人を想いたくなる情報誌

広報湯前

Public Relations

Since1962.

https://www.town.yunomae.lg.jp/

10

The Monthly
Oct_2020
Vol.472

特別で、最高の時間。

特集　コロナ禍のつながりを考える

心はそばに。

祝100歳

おかげさま

内閣総理大臣から５人に表彰状

本年度100歳になる町民の表彰状伝達式を９月23日に各地で開き、５人が内閣総理大臣からの表彰状を受け取りました。うち３人に長寿の秘訣を聞きました。

1／関係者と喜びを分かち合う右田さん 2／長谷川町長から表彰状を受け取る野田さん。飾り付けも華やか

感謝を胸に

津留メグミさん（ゆのまえ美空）

皆さんのおかげでここまで生きられました。改めてお礼が言いたいです。

【長寿の秘訣】
過去のことをいつまでも引きずらないことです。嫌なことはさっぱり忘れて楽しかったことだけを覚えています。今は美空で出会った人たちと仲良く生活しています。皆さんのおかげでここまで生きてきたので感謝の気持ちを忘れずに楽しく過ごしたいです。

【最近の楽しみ】
読書が好きで渡辺和子さんの本などをよく読みます。読んだ本は黒木さん（写真となり）に薦めています。歌も好きで部屋の中で歌うこともあります。声を出すことは健康に良いですね。

【記憶に残っていること】
①村のために一生懸命だった両親の姿をよく覚えています。両親の半分もできなかったけれど、両親のように周りの人にできることをしてあげたいと思って生きてきました。
②戦時中にロシアで偶然、女学校時代の同級生と再会しました。あんなに広い国で会えるとは思っていなかったので、お互いに飛び上がり抱きしめて喜んだのを覚えています。

出会った人との交流を大切にしつつ、趣味を楽しむ二人（左から：津留さん、黒木さん）

CONTENTS 目次

手芸に没頭

黒木満世さん（ゆのまえ美空）

表彰は私にはもったいないですが、とてもうれしいです。

【長寿の秘訣】
美空ではおいしい野菜を食べさせてもらえます。喜んでいただいています。

【最近の楽しみ】
ここでの生活は楽しいことばかりです。週１回保健センターの機能訓練に通って花や箱を作っています。津留さんをはじめ他の入所者と話したり、好きなことをしたりして自由に生活しています。デイサービスでやっている編み物も好きです。時間が欲しいと思うほど没頭しています。手を動かすことは大事だと思います。

自宅で三食しっかり

金子カネヨさん（野中田３）

皆さんのおかげで１００歳を迎えることができました。ありがとうございました。こんなに長生きするなんて思ってもみませんでした。

【長寿の秘訣】
特にありません。「寝てよか」「起きてよか」と家族から言われたとおりに生活してます。あまり早起きしすぎると迷惑に思われますから（笑いながら）。

【最近の楽しみ】
福祉センター湯愛に82歳のときから週１回通っています。これがとても楽しみです。湯愛のおかげで長生きできています。これといった趣味はありませんが、毎日テレビを見ています。

【体調】
どこも悪いところはありません。ご飯がとてもおいしくて、三食しっかり食べています。

■100歳到達者 ※本年度

氏名	地区
右田 シゲヨさん	福寿荘
野田 トミエさん	上里２
金子 カネヨさん	野中田３
黒木 満世さん	美空
津留 メグミさん	美空

食事もかかさず三食。自宅で元気に暮らす金子さん

広報湯前 Since1962.
PUBLIC RELATIONS MAGAZINE.
2020.October Vol.472

10月の表紙

特別で、最高の時間

新型コロナウイルスの影響で、いつもより４カ月遅れて開催された湯前中学校の体育大会。午前中のみと時間は限られていましたが、今までのうっぷんを晴らすように生徒ははつらつとしていました。常に笑顔で全力。それは特別で最高の時間でした。
■撮影日時 9月13日 ■撮影場所 湯前中学校

町民憲章 Town's People Charter

一.健康で心豊かなまちをつくりましょう
一.平和・勤勉・明朗なまちをつくりましょう
一.自然を人を郷土を愛するまちをつくりましょう
一.活力があり未来あるまちをつくりましょう

私たちは湯前町民であることに誇りを持ち、豊かで明るく住みよい町にするためにここに町民憲章を定めます。

◎特集

心はそばに。

コロナ禍で考える人のつながり

新型コロナウイルスの流行による
外出の自粛や休業の要請。
どれもこれも感染の拡大を
防ぐためには必要なことです。
しかし「コロナうつ」という言葉が生まれるほど、
人の心にも影響が及んでいます。
悩みや不安がつきない今だからこそ
私たちの心について考えてみませんか。

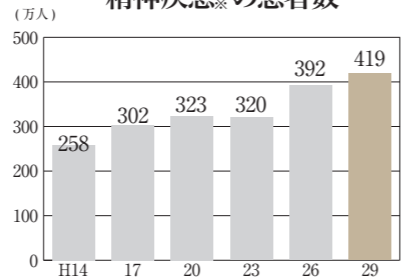
※うつ病だけではなく、認知症や統合失調症、てんかんなど全般を合わせた総数

悩んだときの相談先（一例）

悩みごと	相談先	電話番号
心の悩み	熊本いのちの電話	096 (353) 4343
〃	熊本こころの電話	096 (285) 6688
児童・若者	子ども 110 番	096 (382) 1110
ひきこもり	ゆるここ	096 (386) 1177

【保健センター】医師と連携した「こころの相談」や福祉・健康の相談も受け付けています。☎ 0966(43)4112

【上球磨地域包括支援センター】認知症の医療相談を受け付けています。☎ 0966(42)6006

精神疾患※の患者数

コロナ以前から患者数は毎年増加。厚生労働省はコロナの影響を把握するため、8月に全国調査へ乗り切った

グラフ＝厚生労働省ホームページから

大切な人を守りたい、だからこそ行動した

積み重なる不安

緊急事態宣言時、国は人と人が接触する機会を8割減らすために、イベントの中止や外出自粛、在宅勤務、飲食店の時間短縮・休業を要請。その後も各地で感染状況に合わせて自粛、緩和が繰り返されています。

新型コロナウイルスは自然災害と違って実態がつかめず、終息する見通しも立ちません。見えないものへの不安は知らず知らずのうちに膨らんでいます。たまったストレスを解消しづらい自粛生活、雇用や収益の影響による将来の不安など、さまざまな原因が積み重なって精神的に弱ってしまう「コロナ疲れ」が目立ってきました。

ことし8月に全国で自殺した人は1849人で、昨年の同じ時期より240人以上増えています。長期的な負の影響でうつ病などの精神疾患にかかるリスクが高まっているのです。

かかわりが怖くなった

「この症状は感染かも」「家族が感染したらどうしよう」といった健康状態の心配、「自分や周りの物にウイルスがついているのでは」などの汚染の心配も過剰に。「感染したら周りからどう思われるだろうか」という差別や偏見への恐怖から、他人とかかわることがおっくうになることも増えました。

物理的な距離を遠ざけたら、心の距離まで遠くなった気がした。

狂う歯車

行動が制限される不満感で普段より落ち着かず、焦燥感や怒りを感じやすくなっています。ストレスがたまって家族内での衝突も多くなれば、ドメスティック・バイオレンスや児童虐待につながる恐れもあります。

人は太陽の光を浴びて生活リズムを整えます。屋内で過ごす時間が長いと「寝つきが悪い」といった不眠や過眠の症状が現れることもあります。生活リズムが崩れると昼夜が逆転し、インターネットやテレビに依存してしまうという悪循環に陥ります。一度歯車が狂うと目標や関心も失ってしまいがち。アルコールや喫煙、薬物への依存、学校に通う意義を見いだせなくなった学生なども社会問題になっています。

インターネット弱者の孤立

今回の新型コロナでは感染者が家族や親しい友人などのコミュニケーションから断絶されました。物理的に距離を保ってコミュニケーションをとる手段としてパソコンやスマートフォンが使われています。しかし高齢者にはなじみがない人も多く、社会から取り残されて孤立状態に陥る可能性もあります。活動量が落ちることによる認知機能の低下も心配されています。

「気づき」の遅れ

妊産中、出産直後の女性はただでさえ精神的に不安定になりやすい状態。乳幼児健診などの中止が余儀なくされれば不調を見落としてしまうかもしれません。コロナ禍では、社会的な距離を保ちながら人とのつながりを保つことの難しさが浮き彫りになりました。

吉田病院　興野康也 地域連携医長

発せないSOS。今だからこそ、気づける地域に

Interview 1

コロナに豪雨。吹き荒れる逆風で自分や大切な仲間が心身ともに追い込まれたとき、サインに気づけるでしょうか。人吉市の吉田病院で精神科医として地域にかかわる興野康也医長に話を聞きました。

Yasunari Okino

医療法人精翠会 吉田病院

興野 康也 地域連携医長

自分では気づけない、発せない

今回だけでなくバブル崩壊後など大きな社会変化があるたびに精神疾患の患者数は増加してきました。

精神疾患は異常を自覚できないこと自体が症状なのです。誰かが気づいて相談できるところへつないであげなければなりません。豪雨で自宅が被災しているのに他人優先で仕事をしなければならない人など、つらくともSOSを発せずに苦しむ人がいます。外来患者が避難所生活を余儀なくされ、症状が悪化するケースも起きています。

楽だけが正解じゃない

他人との交流は心の健康上とても大事で、仲間の存在は大きな意味を持ちます。冠婚葬祭や地区行事など地域の協力なしにはできなかったものが今はなくなっています。人とのかかわりが少なくなれば、自分の好きな情報しか入ってこないし、自分の好きな人としか接しなくなります。それは楽ではありますが、ストレスへの耐性は落ちていきます。社会でたくさんの人と関わることは心の健康に必要なことです。

一般的な受診の目安は2週間

診察ではCT、血液検査もしますが内科などと比べるとデータで分かることが多くありません。本人への聞き取りやアンケートに加えて、周りからの情報も得ます。「気持ちが落ち込む」「興味がなくなる」などの心の状態だけでなく「睡眠」「食事」「仕事の能率」といった体の状態、「死にたい」などの自己批判があるかを総合的に診ます。受診の目安は、一般的にこのような状態が2週間以上続くときです。

自宅でできる活動や趣味・娯楽を充実させること、相談しやすい仲間を見つけることが予防につながります。人吉球磨には豊かな緑と水がありますが、自然もいやしの効果があります。

他人の痛みが分かる地域

通常災害後1～2カ月後に患者が増えますが、今回は予想よりも増えませんでした。各地域の保健師を中心に普段から多くの住民と対話し、医療へつなげていたからでしょう。

自分の弱みは口に出さないと他人には伝わりません。しかし素直に口にすることは簡単ではありません。コロナと豪雨を経験し、みんなが痛みを知りました。身近な人が保健師や民生児童委員につなげたり、相談しやすい雰囲気をつくったり。弱った人が住みやすく、安心して暮らすためにはどうしたらよいのか、今だからこそ地域全体で考えていけるはずです。

生活を整える治療

治療の方法は薬だけではありません。精神疾患は社会、人間関係、お金、家族などの生活環境が大きく関わり、例えば良い就労は治療にもなります。患者の生活全般を見て調整してあげられるかどうか。私はそこに精神科医療の本質があると考えています。

麦の会　地内豊子 代表

受け入れて深く共感。安心できる信頼関係を築いて

Interview 2

誰かの異変に気づいたあと、私たちが寄り添うための方法とは。精神科領域の問題を持つ人や周りの人を支援する人吉球磨精神保健福祉ボランティア「麦の会」の地内豊子会長は信頼関係を築くことの大切さを説きます。

Toyoko Chiuchi

麦の会

地内 豊子 会長

(77＝植木)

信頼を築く「傾聴」

人の心に寄り添うには「この人は安心だ」という信頼が必要で、深く丁寧に話を聞く「傾聴」が欠かせません。

まずは相手の話のすべてを受け入れます。「そうじゃない」「みんな同じだから」などと自分の固定概念を押し付けず、相手を否定することはしません。自分のことのように共感し「きつかったね」と心から声をかけます。私は子どもも、高齢者、障がい者、誰であっても同じように一人の人として接します。

互いに肩の力を抜いて

「ブラウスが素敵ね」など良いところを口に出して会話の糸口をつかみます。事前にその人の情報を少し知っておけばさらに内容が広がります。

落ち着いて話せる環境を整えることも大事です。服装も気兼ねしないものを選んでいます。専門的な言葉ではなく、くだけた言い方で自分もリラックスして肩の力を抜きます。正面ではなく、少し斜めに座り、優しいみぶりや手振りに加えて、あいづちやうなづき、声のトーンをやわらかくすることなどを心がけています。相手の心がほぐれていけば、うつむいていた顔が徐々に上がっていきます。

聞かせてくれてありがとう

電話での相談も受けますが、私は直接会って話す方が好きです。表情を見て、そっと手を握ることで、より深く共感しています。

会いたいと言われれば予定を変更してでも、相手の都合に合わせます。その人にとって本当に苦しいのは今だからです。相手を尊重して、秘密を守ることで「あなただから安心して話せる」という信頼を培いたいと思っています。

私がたくさんの相談を受けても抱え込まないのは相手から元気をもらっているからです。「全部話したくなった」と信頼してくれることや他人にかかわれることが私の喜び。大勢の人が私の心の中にいてくれます。聞いてあげるのではありません。「あなたの心に入らせてもらえる。こちらこそ聞かせてくれてありがとう」なのです。

住民にしかできない役目

死にたいと話す人には必ず理由がありますが病院の待合室はいっぱい。一人にかけられる診察の時間には限りがあります。行政と病院の狭間にいる人に寄り添い、時間をかけて話を聞くことが私たちボランティアの役目です。

資格ではなく必要なのは「思い」。しかし仮設住宅などそれぞれにルールもあります。トラブルが起きて、おせっかいにならないように、学んでから行動することができれば「またお願いします」と次につながっていきます。

背景をとらえて

人は一つの失敗だけを見て、他人を非難しがちです。悪さをしている子どもであっても、芯が通っているという良い部分もあるなど、その人の背景まで見てあげてください。家族関係が複雑な子であっても後ろ指をささず「今日もお疲れ様」と出迎えてくれる。そんな温かいまなざしを向けられる地域になることを願っています。

みんなで一人前。それでいい。それがいい。

「と」もに、「え」がおで「り」かいして。

ひきこもりの防止や認知症の緩和を目指して8月2日から活動しているのが「サロン♡りえと」。「と」よこさん、「え」つこさん、「り」つさん、立ち上げにかかわった同級生3人の頭文字をとり、「と」もに「え」がおで「り」かいしながら毎週水曜日に活動しています。

互いを認め合い、褒め合い、笑い合う。心のつながりを形に。行動するときは、今――

サロン♡りえと

1／アロマテラピーでリラックス。冗談も挟み体も心もほっこり　2／終了後の昼食は各自持ち寄る。お金をかけず心をかける　3／「1枚で1時間は話せる」と語るほど写真から会話が広がる　4／手話が得意な猪熊さんがみんなに手話を教える

9月23日の参加者
【前列左から】
地内豊子さん（77= 植木）、
椎葉文子さん（76= 下里）、
桑原リツさん（76= 上里1）
【後列左から】
椎葉和恵さん（68= 田上）※麦の会、
猪熊悦子さん（77= 野中田3）、
佐々木久美子さん（人吉市）※麦の会

同級生が認知症になったことを機に自然にメンバーが集まり、サロンが立ち上がりました。「認知症サポーター養成講座など、学んだことを実践することで本当の宝物になるはず。共感してくれる仲間が3人いると立ち上げやすいし知恵も出る」と地内さん。活動場所は安心処と称する猪熊さん宅。「少し疲れてしまった人は同級生以外でもどうぞ」と枠を設けず参加は自由。9月23日は6人が参加しました。

ここではだれかが一方的に支えることはありません。司会や会計、みんなが順番に担当します。たった一つの決まりごとは「誰かの悪口を言わない」こと。マイナスの言葉をプラスに変えて「お金はかけず、心をかける」と参加費はたったの100円。終了後には持ち寄った料理で食卓を囲みます。

褒め合い、認め合う場所

活動は1週間の振り返りから。一人ずつ話していき、心の中にたまった思いを打ち明けます。地内さんが取り出したのは一枚の写真。椎葉文子さんがお店を開いたときのものでした。お店のことから家族のことまで一枚で次々に広がっていく会話。「本当によく仕事を頑張ってきたね」。みんなが褒め合い、認め合っていました。

顔を合わせて、手を取り合うことが前を向いて生きる力に

手話が得意な猪熊さんは「ありがとう」「おいしい」など褒める手話を、麦の会の佐々木久美子さんはアロマテラピーを教え、ゆっくり時間をかけて手と頭を動かします。「手は普段使ってばかりで、あまりいたわらないからね」などと冗談をはずませ「1カ月に一度では寂しい。1週間に一度会うのが楽しみ」とみんなが口をそろえます。

幸せの土台づくり

「多少の認知は何も問題ない。何でも受け入れて、失敗もユーモアにして笑い合う。一人では一人前になれないけれど、みんなで一人前ならそれでよし。直接顔を合わせるようにしたら、不安も和らぎ、よくかかってきていた電話も少なくなった。何よりみんなが明るくなった」と地内さん。認知症をかかえるメンバーも笑顔が増え、自分からよく話すようになりました。

中でも同級生4人は目標を掲げています。それは昔行った金沢旅行にもう一度行くこと。「楽しみをつくると上を向くきっかけになる」とお金も積み立て始めました。「手のしびれや足の痛みなど、いろいろなことがあるけれど、お互いの良いところを見つけて、補い合おう。みんながいればきっと大丈夫。忘れていくのもみんな一緒。100歳まで元気でいよう」。地内さんの言葉にゆっくりと全員がうなづきました。

安心できる人と場所。それは幸せの土台にあるものです。大きなことをする必要はありません。小さなことの積み重ねで土台は築かれます。いつもより少しだけ笑顔で接したり、いつもより少しだけ他人の良いところを褒めてみたり。一人一人の温かな心が合わされば、私たちは今の時代でも、きっと前を向いて歩んでいけるはずです。

特集　心はそばに。（完）――

Voice -参加者の声-

（桑原リツさん）
ここにいると落ち着きます。みんなに会うのが楽しみです。

（椎葉文子さん）
仕事をしなくなってから外に出ることが少なくなりました。集まる場所があることに感謝しています。

（椎葉和恵さん）
癒しの場所です。1週間に2回でも3回でも参加したいくらいです。すばらしい先輩たちに感謝しています。

（猪熊悦子さん）
誰も無理をせず、自然と集まり立ち上がったことがうれしいです。みんなの「こんにちは」が毎回楽しみです。

（地内豊子さん）
車で迎えに行くとき、玄関で顔を見て「いこうか」という瞬間がうれしいです。いつも仲間に感謝しています。

（佐々木久美子さん）
家に閉じこもりがちで一人でいるとなかなか話す機会もありません。皆さんに会うと心の洗濯をしているように、毎回温かくてほっこりします。

仲間と過ごした特別で、最高の３時間。

The Best Time.

湯前中学校の第74回体育大会が9月13日に開かれ、全校生徒90人が「今こそ魅せろ90人の意地〜湯中生の本気にキュンです〜」のテーマ通りに青春の汗を流しました。

新型コロナウイルスの影響で5月から延期し、プログラムは午前中のみでしたが、生徒は徒競走やダンス、応援合戦、リレー、すべての競技を全力でプレーしました。

赤団は岩野寧々（ねね）さん（同校3年＝瀬戸口）、白団は中田有咲さん（同＝田上）が団長を務め、団員をまとめました。ことしは白団が勝利しましたが、岩野さんは「みんながついてきてくれて不安が楽しみに変わった。最高の体育大会だった。これからも一致団結して頑張ろう」と涙ながらに感謝。生徒全員が特別で最高の時間を過ごしていました。

1、14／湯中魂全開の応援合戦 2／万歳一等賞 3／笑顔はじけるダンス 4、8／全力返事 5、13／全学年でつなぐリレー 6／競技前の準備運動 7／仲間へエール 9／選手を見守るイラスト 10／みんなの思いをゴールへ 11／迫力満点ソーラン節 12／ボンボンでフレーフレー

Books

読書のススメ

中央公民館図書室
☎0966 (43) 2050　2 週間/一人 5 冊まで
平日 AM8:30～PM5:00
土日・祝 AM9:30～同

鬼滅の刃 片羽の蝶

吾峠 呼世晴（著）など
集英社

鬼に両親を殺された幼いカナエとしのぶを助けた悲鳴嶼。鬼殺隊への入隊を希望する二人にある試練を与えるのだが…大人気「柱」の面々が登場する物語 5 編を大公開。

美しいものを見に行くツアーひとり参加

益田 ミリ（著）
幻冬舎

美しいものを見ておきたい。40歳になった時、そんな気持ちになった。行きたい所に行って、見たいものを見て、食べたいものを食べるのだ。

こにぎりくんのうんどうかい

宮澤 真理（著）
フレーベル館

NHK「プチプチ・アニメ」で放送、第三弾。運動会に参加したこにぎりくんは、大好きな忍者を見つけて、思わず追いかけてしまい…!? こにぎりくんと忍者の追いかけっこが見もの。

1日10分の幸せ

朝井 リョウ（著）
など　双葉文庫

儿帳面な上司の原点に触れた瞬間。一人暮らしをする娘に母親が贈ったもの。異国の人々が耳を傾けたショートストーリーの名品を収録。

Dietary habits　管理栄養士だより

目の健康は食事から

10/10は目の愛護デー

加齢による視力低下や白内障、パソコン、スマホによる疲れ目やドライアイ、現代人は老若男女、目が不健康になりがちです。上の図を見て目に良い食べ物や栄養成分、効果を確認しましょう。

疲れ目に有効な「アスタキサンチン」を含む鮭レシピ

鮭のホイル焼き　※2人分

■作り方

① 生鮭に塩こしょうをする
② にんじんは千切り、ピーマンは輪切り、
　たまねぎはスライス、えのき茸・しめじは食べやすい大きさに割く
③ 野菜をボウルに入れ、うす口しょう油を加え混ぜる
④ アルミホイルを広げ、油を塗る
⑤ 鮭をホイルの真ん中に置きその上に野菜、バターをのせ包む
⑥ 中火でフタをして蒸し焼きにする

■材料

生鮭・・2 切れ、塩こしょう・・少々、にんじん・・1/6本、えのき茸・・1/2袋、しめじ・・1/2袋、たまねぎ・・1/4個、ピーマン・・1 個、うす口しょう油・・大さじ 1、バター・・1 かけ、サラダ油・・適宜、アルミホイル

管理栄養士　田中 朋子

Health　保健師だより

がん検診で早期予防

集団健診で受けれるものもあります

日本で推奨されている「がん検診」

対象者	対象臓器	検診方法
50 歳以上 ※ 40 歳以上	胃	問診、胃部エックス線か 胃内視鏡検査
20 歳以上	子宮頸部	問診、視診、子宮頸部の 細胞診と内診
40 歳以上 ※ 20 歳以上	乳房	問診、マンモグラフィ、 乳房超音波
40 歳以上	肺	問診、胸部エックス線検査
40 歳以上	大腸	問診、便潜血検査

※は町の集団健診（12/16 ～12/18）で受診できる年齢です。
他、本町では前立腺がんや甲状腺がんの検診もあります。

①特に症状がない健康な人が受ける健診です
早期に発見できれば治療ができます。
②精密検査を勧められたときは必ず受けましょう
③がん検診は１回ではなく「定期的に」
受診後にがんができたときに発見しやすくなります。

■集団健診の申し込みは・・・
保健福祉課にお問い合わせください　☎0966（43）4112
参考：公益財団法人　がん研究振興財団「がん検診2020」

保健師　東 和美

Ecolog　ごみ情報

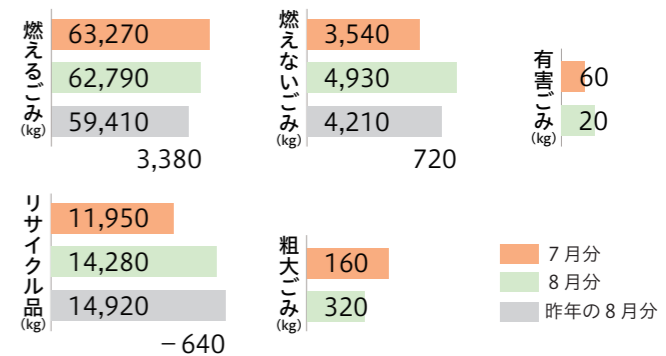
生活に合った生ごみ処理機を

購入には補助があります

タイプ		処理方法	特徴
電動	乾燥	熱乾燥	【長所】簡単、コンパクト 【短所】乾燥物の取り出し、電気代
	バイオ	微生物で発酵分解	【長所】生成物の取り出し不要 【短所】菌床の交換、電気代、大きい 野外タイプは雨や冬が不便
手動かくはん		手動で混ぜ、微生物で分解	【長所】生成物の取り出し不要、コンパクト、電気代不要、安い 【短所】手動、菌床の交換
たい肥化容器（コンポスト）		微生物で分解してたい肥化	【長所】電気代不要、安い 【短所】臭いや虫が心配、野外タイプは雨や冬が不便

電動型…購入価格の 2 分の 1（限度額 3 万円）※1 世帯 1 台
コンポスト…購入価格の 2 分の 1（限度額 3 千円）※1 世帯 2 個
問 保健福祉課環境衛生係 ☎0966 (43) 4112

※リサイクル品を除く
8 月の一人当たりごみの量　**21.86**kg（先月から 4.96kg ↑）

種類 (kg)	7 月分	8 月分	昨年の 8 月分	差
燃えるごみ	63,270	62,790	59,410	3,380
燃えないごみ	3,540	4,930	4,210	720
有害ごみ	60	20		
リサイクル品	11,950	14,280	14,920	－640
粗大ごみ	160	320		

10月の不燃物収集	7 日（第 1 水曜）	21 日（第 3 水曜）

婦人会だより Community

敬老会の記念品と一緒にマスクを

2020.10
No. 4

地域婦人会 会長
橋田 實子

新型コロナウイルス感染の収束も見えない中、大雨台風と次々にやってくる自然災害に人間の力のふがいなさを感じるこのごろです。

私たち婦人会は日赤奉仕団の一員であり、8月から人吉災害ボランティアセンターの受付業務にかかわっています。湯前からも8月2日、9月2日の2日間出向きました。各校区が交代で行っています(赤十字新聞の全国版にも取り上げていただきました)。

敬老会の記念品にマスクを添えて

区長、世話役さん、お世話になりました。ことしは記念品と一緒にマスクをつけさせていただきました。役員、支部長たちが心を込めてマスク一枚一枚を袋に詰めて記念品に張りつけました。当分マスク生活は続くと思います。どうぞご利用ください。早く新型コロナ収束の兆しが見えることを祈るばかりです。

Sports

「毎日元気に」メダリストに押された背中

中村さんのメッセージに元気をもらった児童たち

中村さんの動画はこちらから

令和2年7月豪雨を受けて、シドニー五輪100㍍背泳ぎの銀メダリストでB&G財団で理事の中村真衣さんが本町に応援メッセージを送ってくれました。※

9月11日に湯前小学校の6年生25人が動画を視聴。「東京から湯前のことを思って応援してくれていることがうれしかった」「僕たちも毎日元気に過ごして頑張ろうと思った」と、遠く離れた地から応援してもらえるありがたさを感じていました。動画はQRコードから読み取るか、町B&G海洋センターのFacebook(フェイスブック)ページでも見ることができます。

※本年度のプールは閉館しています。

Register

戸籍の窓 8月1日～31日

結婚おめでとう

淵上 湧太(中里２)
岩﨑 夏生(中里２)

影山 征司(鳥取県)
石原 未菜(中猪)

ご冥福をお祈りします

澁谷 征志郎(下里)

香典返し

平川 ミカド(上里３)
三吉 辰生(下村)
木野 峰(下村)
岩野 正義(上染田)

人の動き(8/31時点)

人口 3766人
男 1765人
女 2001人
(65歳以上 43.9㌫)
世帯 1575世帯

Donations

北海道芦別市から義援金
町の復興と平穏を願って

本町と交流のある北海道芦別市と同市議会から豪雨災害の義援金計20万円が8月20日に本町へ届きました。

芦別市は北海道のほぼ中央に位置し、キャッチフレーズは「星の降る里」。豊かな自然を生かした芦別メロンや木工クラフト製品、建築資材の生産が盛んに行われています。実業団のスポーツ合宿や「化粧の湯」といわれる質の高い温泉も有名です。

上球磨地区林業振興推進協議会が木質バイオマスボイラーの現地視察をしたことをきっかけに平成25年から交流がスタート。その後両市町のイベントで物産販売をするなどしてきました。

荻原貢市長は「被災地の様子は連日報道番組や新聞で見ていたが、拡大する被害の状況に胸が締め付けられるような思いだった。遠くの地ゆえにお役に立てず心苦しいが、少しでも被災された皆様の力になれれば。復興に尽力されている湯前町民の皆様の安全と一日も早く平穏な生活に戻られることを心から祈っている」と義援金にメッセージを添えました。

MonthlyTopics

ささえあい 寄り添うために認知症を学ぶ

接し方の良し悪しを話し合って発表する会員

本町の有償ボランティアグループ「ゆのまえちょこっとボランティアささえあい」は9月10日に保健センターで定例会を兼ねた研修会を開催し、会員24人が認知症サポーター養成講座を受講。「自尊心を傷つけず、主張を受け入れる」などと接し方を学んでいました。

慈光こども園育児講演会 心理学で考える子どもの個性

オンラインで講演を受ける参加者

子育て支援拠点事業として慈光こども園が定期開催する子育て講演会が9月12日に同園で開かれ、保護者ら17人が参加。心理学を活用した3つのタイプの行動や心理を講師が紹介し、参加者は我が子の顔を思い浮かべながら個性との向き合い方を考えていました。

編集後記

▼思い返せば、私も他人を思えるだけの心の余裕がなかったような気がします。だれかの異変に気づいてあげられないかもしれません。ですが普段の接し方は変えられます。ほんの少しの心づかいが自分と周りを幸せにすると信じて。前を向いていきましょう。

▼「パパ、パパ」。言葉を覚えた息子。かわいいと思った矢先。他人に「パパ」、お札(福沢諭吉)も「パパ」。パンダは「パ」。我が子よ、パパは一人です…(宏)

▼100歳到達者表彰の取材をしました。皆さんとても元気が良く、私も元気をもらいました。100歳目指して元気に過ごせるように。人生の先輩たちを見習いたいです。

▼保育園の運動会を取材しました。小さい体で一生懸命競技するかわいらしい子どもたち。負けじと一生懸命だったのが保護者対抗リレーの選手の皆さん。転んだ姿がとてもかわいらしかったです。(岩)

まちを、人を想いたくなる情報誌
広報湯前
Public Relations Since1962.
10 Oct. 2020
Vol.472

金婚・ダイヤモンド婚表彰式

二人で刻んだ1万8262日

夫婦そろって元気な姿で記念撮影

熊日金婚夫婦表彰状伝達式・ダイヤモンド婚夫婦表彰式を9月11日に保健センターで開き、金婚夫婦（結婚50年）10組とダイヤモンド婚夫婦（結婚60年）3組が出席。同社事業局長や長谷和人町長らが夫婦の節目を祝って表彰状や記念品を贈りました。

金婚表彰は昭和45年度、ダイヤモンド婚表彰は昭和35年度に結婚した夫婦。全員が表彰状を受け取り、代表して平川伊三男さん（73＝上里3）が「50年、日にすると1万8262日。山あり谷ありの日々だったが今日を元気で迎えられたのは互いとまわりの支えのおかげ。夫婦二人で長生きをして社会に貢献したい」とお礼を伝えました。

金婚夫婦（結婚50年）	
荒木 利八さん、玲さん	野中田3
溝辺 司さん、悦子さん	浅鹿野
平川 伊三男さん、みさ子さん	上里3
山口 洋史さん、和子さん	浅鹿野
髙木 征雄さん、スマ子さん	浅鹿野
山下 力さん、京子さん	植木
江﨑 邦弘さん、由美子さん	古城
遠坂 勝幸さん、ヨシ子さん	田上
田中 和春さん、みな子さん	上村
柳瀬 鐵男さん、則子さん	瀬戸口
蓑田 賢一郎さん、和賀子さん	下城
谷口 清民さん、ひとみさん	上里3
ダイヤモンド婚夫婦（結婚60年）	
岩野 文二さん、治子さん	下染田
大石 堅さん、エミ子さん	瀬戸口
髙瀬 誠さん、シズ子さん	下染田
椎葉 榮さん、シズカさん	馬場
平田 友晴さん、トシ子さん	下里
松山 陸奥喜さん、朋枝さん	馬場
椎葉 五男さん、巳代子さん	上里1

これからも、寄り添って

互いに長年の感謝を伝えたダイヤモンド婚夫婦

iPhone

android

スマートフォンなら「マチイロ」

アプリ「マチイロ」を使うとスマートフォンで紙面が読みやすくなります。QRコードを読み取り簡単な登録を済ませてください。

※アプリのダウンロードや登録は無料、通信料は利用者負担
※閲覧中に広告が表示されますがその内容に本町は一切責任を負いません

令和2年10月1日発行第472号
発行／湯前町役場総務課 https://www.town.yunomae.lg.jp/ 〒868-0621 熊本県球磨郡湯前町1989-1 TEL0966-43-4111 印刷／(有)ソーゴーグラフィックス